

令和4年度第1回小林市地域公共交通活性化協議会・地域公共交通会議 会議要旨

開催日時：令和4年5月31日（火） 14時00分～16時00分

開催場所：小林市役所 第1別館大会議室

出席者等：出席委員12名、代理出席4名、欠席委員2名、事務局3名

【会議要旨】 ※ [] 内は話者

1. 開会〔事務局〕

2. 会長あいさつ〔会長〕

地域公共交通の現状は、全国的に人口減少の本格化、高齢者の運転免許返納の増加、運転手不足の深刻化、及び公的負担の増加等により、その維持・確保は容易でない。

このような現状を踏まえ、昨年度本市においては、当協議会でも熱心な議論をいただき、「小林市地域公共交通計画」を新たに策定した。今後は、計画に基づく取組を委員の皆様と十分に協議しながら、丁寧、かつ確実に実施することで、持続可能な公共交通を目指していきたいので、引き続き、ご理解・ご支援をお願いしたい。

3. 委員及び事務局職員自己紹介〔委員、事務局〕

4. 報告

(1) 小林市地域公共交通計画の説明

(2) 地域公共交通活性化協議会及び地域公共交通会議概要について

【資料1】

5. 議事

(1) 令和3年度小林市地域公共交通活性化協議会事業実績、収支決算及び監査報告について

【資料2】

<質疑> なし

◆原案承認

(2) 小林市の公共交通事業の令和3年度事業実績及び令和4年度事業計画について

【資料3】

<質疑>

〔Q. A委員〕

市内高等学校通学費補助事業について、利用者が前年度より減少した理由は。

〔A. 事務局〕

バス通学生の減少が主な理由と考えている。高等学校を通じ対象者への周知を図っているが、利用者は減少傾向にあるのが現状である。

〔A. B委員〕

キャンパスミニ（半年定期）の購入状況は、令和3年9月～10月が26人、令和4年3月～4月が29人となっており、今年度も昨年度同様の利用者になると思われる。

〔Q. C代理〕

コミュニティバス利用者数が前年度より増えた要因は。

〔A. 事務局〕

コミュニティバスは市内で完結する日常生活に密着した移動手段であるため、地域間を移動する路線バスよりは新型コロナの影響が小さかったのではないかと考えている。

〔Q. D委員〕

小林市コミュニティバス運転免許証返納者乗車証の交付について、返納者数はどのくらいか。

〔A. B委員〕

今までは毎月約20人の申請があったが、昨年度より30人から40人の申請がある月もあり、増加傾向にある。

〔Q. E委員〕

新型コロナウイルス感染症地域交通活性化事業について、令和4年度も支援はできないか。

〔A. 事務局〕

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用した原油価格・物価高騰等への対応を検討中である。

〔Q. F委員〕

吉都線に乗ったことがない子どもが多いため、乗車賃の助成等を行うファミリー向けの施策は行えないか。

〔A. 事務局〕

子どもの時に乗車し愛着を持ってもらうことは大変重要。JR吉都線利用促進協議会において、小中学生等利用助成事業を実施している。日常利用の促進のため、対象の拡大等についても協議中である。また、助成事業を利用する際の要件として8人以上となっている。今後の検討課題とさせていただきたい。

〔A. G委員〕

コロナ禍前には子育て支援列車を実施し、子どもたちに乗車体験をしてもらった。

(3) 令和5年度地域内フィーダー系統確保維持計画について

【資料4】

国から市コミュニティバスの補助を受けるために必要な計画であること、路線毎の目標、国庫補助金の算出方法について、概要を説明。

◆原案承認

6. その他

〔宮崎運輸支局〕

地域公共交通における国の動向について 別途資料

〔宮崎県総合交通課〕

宮崎県における地域間幹線バスの現状について 別途資料

〔宮崎交通〕コミュニティバス、路線バスの現況について

○コミュニティバス 令和3年度利用者数は令和2年度比約102%。令和元年度比約85%。

○路線バス 令和3年度乗車人数令和2年度比（令和元年度比）

宮崎空港線 99.3%（73.4%）、都城線 106.7%（80.7%）、

京町線 104.8%（86.2%）、祓川線 98.5%（76.8%）

〔小林警察署〕

5月13日に高齢者講習制度が改正されたため、今後免許返納者がさらに増える可能性がある。

コロナによる人流の減のため県内の事故件数は減っている。小林警察署管内では、人身事故55件（昨年度より-18件）、死亡事故4件（+4件）、物損事故372件（+65件）。横断中の事故が多い。夜間は小まめなハイライトの切替を行っていただきたい。

7. 閉会〔事務局〕